



増えている大腸がん 私は大丈夫って思っていますか？

大腸がんは、かつて日本では少ないがんと言われていましたが、戦後から1990年代までに急速に増加してきたがんの1つです。

◎ 症状がないうちから受けることが重要 ～大腸がん検診で早期発見～

がん検診は、無症状の健康な人ががんにかかっているかどうかを発見するために行われます。大腸がんは早期発見できれば、治癒の可能性が高いがんの一つです。ただし、大腸がんの初期ではほとんど自覚症状はみられません。ですから自覚症状のないうちから定期的に検診を行い、早期にがんを発見しようとするのが重要です。

まずは便潜血検査を!!

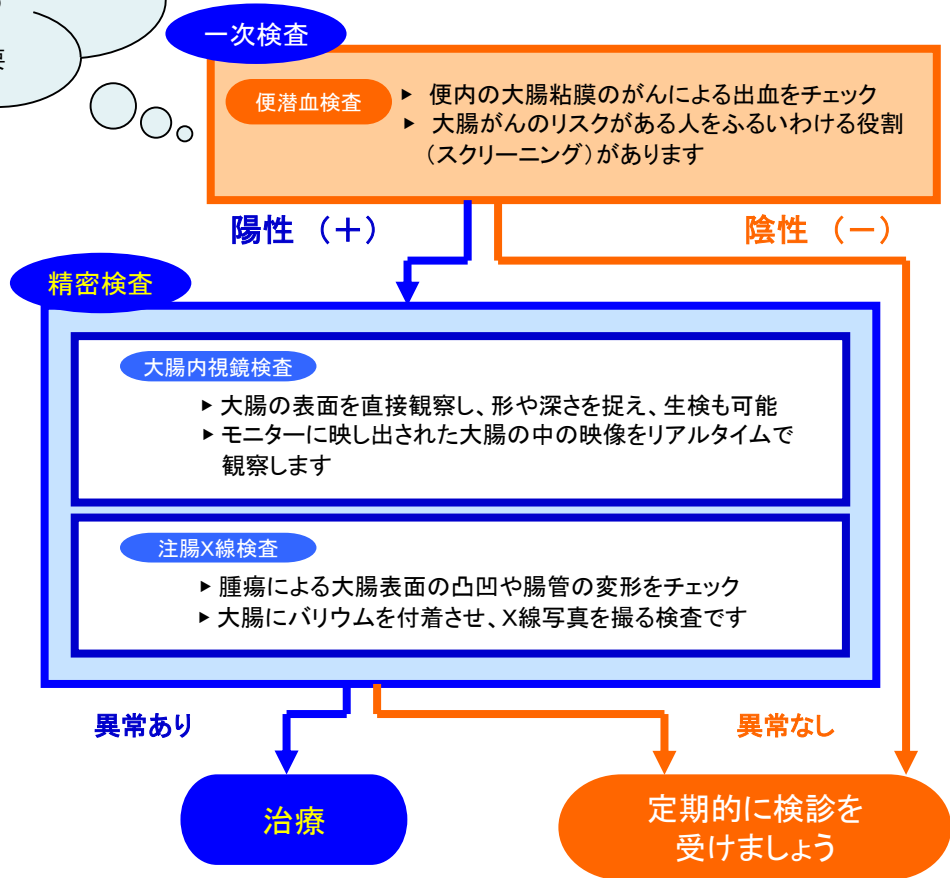
大腸がんの死亡率減少効果において十分な根拠がある検査として認められています。40歳以上の方は毎年定期的に検診を受けることが重要です。

※ 「陽性」と判断されて精密検査を受けない場合は大腸がんによって死亡する危険が約5倍高くなります。「陽性」と判断されたら必ず精密検査を受けるようにしましょう。

当院外科では、大腸3D-CT検査(CT colonography)を実施しております。



一般的な流れ



当院では、精密検査と治療を迅速に行っております。



水戸赤十字病院

TEL : 029-221-5177(代表)

E-mail : mito@mitojrc.or.jp

